

浅野 繁&純子

ジョイントコンサート

～ベートーヴェンとシューベルトへのオマージュ～

2017年11月3日(金) 16:00開演

k.aスタジオ@吉祥寺

主催/館ムジカ

本日は多くの方々にお集まり頂き、
誠にありがとうございます。
ベートーヴェンは晩年になって、
人類愛に満ちた傑作を創り上げました。
シューベルトはベートーヴェンを大変崇拜し、
やはり人間の心に寄り添うような作品を
数多く残しています。
シューベルトは師の後を追うように
20ヶ月後に亡くなりましたが、
二人の作品には時空を超えて
私達に語りかけるものを感じます。
それらを少しでも皆様方へ
お伝え出来たら幸せです。

今回素晴らしい空間をご提供下さった
浅野御夫妻には心より感謝申し上げます。

浅野繁 純子

Program

フランツ・シューベルト

Franz Schubert (1797~1828 11月19日没)

ロンド イ長調 D951 (1828年作)

浅野純子 & 浅野 繁

即興曲 D935 (1827年作)

浅野純子

第2番 変イ長調 Allegretto

第3番 変ロ長調 Andante

休憩

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

L.v. Beethoven (1770~1827 3月26日没)

ピアノソナタ 第32番 ハ短調 作品111 (1822年作)

浅野 繁

Maestoso - Allegro con brio ed appassionato

Arietta - Adagio molto semplice e cantabile

F・シューベルト

デュオ 人生の嵐 イ短調 D947 (1828年作)

浅野純子 & 浅野 繁

Shigeru Asano

宮城県加美町出身。佐々木美佐子氏の指導でピアノを始め、後に庄司芳武、石橋ときわ、大西愛子の各氏に師事。1964年第8回全東北ピアノコンクール第1位、文部大臣賞受賞。1965年桐朋学園高校音楽科に入学。井口愛子氏に師事。1970年第39回日本音楽コンクールピアノ部門第2位入賞。1972年桐朋学園大学音楽学部を音楽賞を得て卒業。1976年文化庁在外研修員としてスイスに留学し、アルトゥーロ・ベネデッティ＝ミケランジェリ氏に師事。1980年帰国。東京、仙台を中心に各地で演奏活動を再開。ソロリサイタルの他、コンチェルトのソリストとして仙台フィルハーモニー管弦楽団、レニングラード交響楽団、仙台ニューフィル等と協演。1994年には宮城教育大学管弦楽団とベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲全曲演奏会を行った。室内楽の分野ではヴァイオリニストの小林武史氏、ヤナーチェク弦楽四重奏団と共演するなど多くの演奏会を行っている。1974年小林武史氏との国際交流基金の要請による東南アジア演奏旅行。1982年同氏と日中国交回復10周年記念音楽使節。また、アメリカ、ポーランド、イタリアなど、国外での演奏活動も行っている。昭和62年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。平成7年度宮城県芸術選奨受賞。宮城学院女子大学名誉教授。館ムジカ主宰。

Junko Asano

福島県出身。1977年第21回全東北ピアノコンクール第1位、文部大臣賞受賞。1984年東京音楽大学ピアノ演奏家コースを優等賞を受賞して卒業。ポーランド給費留学生としてワルシャワ・ショパン音楽院マスターコースに留学。1986年帰国。仙台、東京にてリサイタルを行う。1990年ワルシャワにてリサイタル。1994年ポーランド・カリシフィルオーケストラと協演。1992年、1995年、1997年、仙台でリサイタル開催。1999年ポーランド・クラクフ日本美術技術センターにてショパン没後150年記念リサイタルを開催。同年東京オペラシティでショパンリサイタルを行う。2002年、2004年、2007年、2010年仙台、東京にてリサイタルを開催。これまで八島幸男、三浦浩、斉藤久子、井口愛子、関根有子、A・ステファンスキの各氏に師事。2008年全日本ピアノ指導者協会特別指導者賞受賞。2011年、2012年、2014年同協会指導者賞受賞。全日本ピアノ指導者協会正会員。その他様々なコンクールの審査員を務める。現在演奏活動を行うと共に後進の育成にも力を注いでいる。2012年有志団体AKTを立ち上げ、(一財)国際セラピードッグ協会に協力。チャリティコンサートにも取り組んでいる。宮城教育大学非常勤講師。